

作成日： 2024年 5月 27日（第1.0版）

2017年1月～2024年3月に名古屋市立大学医学部附属西部医療センターで入院中に  
抗生剤を使用された患者さんへ

「COVID-19 流行期別における手指消毒剤使用量の変動分析」の情報公開文書

## 1 研究について

COVID-19の世界的な流行により、改めて感染症への予防対策が求められています。特に、医療従事者の手指消毒剤の使用がとても重要です。しかし、国内ではCOVID-19の流行期間中にどれだけの手指消毒剤が使用され、それが病院内の感染症にどれくらい影響したかは、まだ良くわかっていません。そこで、この研究では、COVID-19が流行していた期間に名古屋市立大学附属西部医療センターで使われた抗生剤の量と、それがどの病気に使われたかを調査します。

この研究を実施することについては、名古屋市立大学医学系研究倫理審査委員会（所在地：名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1）において医学、歯学、薬学その他の医療又は研究に関する専門家や専門以外の方々により倫理性や科学性が十分であるかどうかの審査を受け、承認されたうえで、研究を実施する研究機関の長から研究を実施することについての許可を受けています。また委員会では、この研究が適正に実施されているか継続して審査を行います。

なお、本委員会にかかわる規程等は、以下のホームページよりご確認いただくことができます。

名古屋市立大学病院臨床研究開発支援センター ホームページ “患者の皆様へ”  
<https://ncu-cr.jp/patient>

## 2 この研究で用いるあなたの試料・情報の利用目的及び利用方法について

COVID-19が初めて世界的に流行した時、海外で手指消毒剤の使用量がどのように変化したかについての情報はありますが、その影響についてはまだ調べられていません。この研究では、日本でのCOVID-19の流行ごとに、どのように抗生剤が使用されたのかとその理由（標的とした菌種）を調査して、手指消毒剤がどのように感染症に影響を与えたかを調査します。

## 3 この研究で用いるあなたの試料・情報の内容について

この研究では、2017年1月から2024年3月までの間に名古屋市立大学附属西部医療センターで抗生剤を使用した患者さんの医療情報を用います。用いる医療情報は、下記のとおりです。

- ・使用した抗生剤の種類と使用量、使用期間
- ・標的とした菌種
- ・医療関連感染、持ち込み感染の有無および保菌（症状が無い場合も含む）の種類
- ・COVID-19感染の有無

## 4 あなたの試料・情報を利用していただく研究者等について

この研究では、以下の研究者があなたの情報を利用していただきます。

研究代表者： 名古屋市立大学大学院薬学研究科 講師 齊藤 将之  
研究責任者： 西部医療センター 薬剤部 副薬剤部長 森下 修行

研究分担者： 西部医療センター 薬剤部 主幹 佐藤 由美子  
西部医療センター 薬剤部 主査 長水 正也  
西部医療センター 看護師 伊藤 真早代  
西部医療センター 副病院長 秋田 憲志

なお、この研究では、あなたの情報を研究代表機関である名古屋市立大学へ提供させていただきます。また、名古屋市立大学では、以下の研究者が、あなたの情報を利用させていただきます、研究を実施します。

名古屋市立大学大学院薬学研究科 齊藤 将之  
名古屋市立大学大学院薬学研究科 館 知也  
名古屋市立大学大学院薬学研究科 堀 英生  
名古屋市立大学大学院医学研究科 日比 陽子

## 5 本研究施設における研究責任者等の氏名

この研究は、研究責任者/個人情報管理者が責任をもって情報を管理します。

研究機関名： 名古屋市立大学大学院薬学研究科 臨床薬学講座  
研究責任者： 講師 齊藤将之  
個人情報管理者： 講師 齊藤将之

なお、この研究は、多機関共同研究であるため、以下の研究機関が参加しています。

### 【研究代表者】

研究機関名： 名古屋市立大学大学院薬学研究科  
研究代表者： 齊藤将之

### 【共同研究機関】

研究機関名 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター  
研究責任者： 森下 修行

## 6 あなたのプライバシーに関わる内容は保護されます。(個人情報等の取り扱い)

あなたの情報などは匿名化した番号で管理されるため、報告書などでは、得られたデータがあなたのデータであると特定されることはありませんので、あなたのプライバシーに関する情報(住所・氏名・電話番号など)は保護されます。また、この研究を通じて得られたあなたに係わる記録が学術雑誌や学会で発表されることがありますが、その場合も、あなたのデータであると特定されることはありません。

## 7 あなたの試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を希望しない場合

この研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。また、この研究に、あなたの情報が利用されることや他の研究機関への提供されることを希望されない場合は、ご連絡ください。ただし、研究の進捗状況によっては、個人情報の特定ができない状態に加工されており、あなたのデータを取り除くことができない場合があります。

### 【本研究施設における問い合わせ先】

研究実施機関：名古屋市立大学大学院薬学研究科

連絡先： TEL (052) 836-3754

(対応可能時間帯) 平日(月～金) 9時から17時まで

対応者： 齊藤 将之

## 8 研究に関する情報公開

この研究の成果は、学術雑誌や学術集会を通して公表する予定ですが、その際も参加された方々の個人情報などが分からない状態で発表します。

## 9 研究により得られた研究成果等の取り扱い

この研究で得られるデータ又は発見に関しては、研究者もしくは研究者の所属する研究機関が権利保有者となります。この研究で得られるデータを対象とした解析結果に基づき、特許権等が生み出される可能性があります。ある特定の個人のデータから得られる結果に基づいて行われることはありません。したがって、このような場合でも、あなたが経済的利益を得ることはなく、あらゆる権利は、研究者もしくは研究者の所属する研究機関にあることをご了承ください。

## 10 この研究の資金源及び利益相反（COI（シーオーアイ）：Conflict of Interest）について

研究一般における、利益相反（COI）とは「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、企業等が研究に対してその資金を提供している場合や、研究に携わる研究者等との間で行われる株券を含んだ金銭の授受があるような場合です。このような経済的活動が、研究の結果を特定の企業や個人にとって有利な方向に歪曲させる可能性を判断する必要があり、そのために研究の資金源や、各研究者の利害関係を申告することが定められています。

この研究は名古屋市立大学の教員研究費により実施するものであり、企業等からの資金の提供はありません。利益相反の状況については、名古屋市立大学大学院医学研究科医学研究等利益相反委員会に必要事項を申告し、適切に管理しています。

また、共同研究機関においても各機関の規程に従い、適切に対応しています。